

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 人物交流事業費
 - (1) 文化協力（派遣）
 - (2) 文化協力（招へい）
2. 催し等事業費
 - (1) 文化協力（助成）
 - (2) 文化協力（助成）（AC）

文化協力事業費

1. 人物交流事業費 (1)文化協力(派遣)

主にODA対象国における現代の文化・芸術・スポーツなどの活動を振興し、諸分野の人材育成を支援するために、専門家の派遣および招へいを行なう。

合計額 29,151,097円

事業名	対象国	人物	所属機関	現職	期間	事業内容
1 タンロン遺跡保存修復支援	ベトナム	上野 邦一 西村 康 西村 昌也 坪井 善明 桃木 至朗	奈良女子大学 奈良文化財研究所 ベトナム考古学院 早稲田大学 大阪大学大学院	教授 客員研究員 客員研究員 教授 教授	06.09.18～ 07.03.29	ハノイ近郊に残るタンロン遺跡の保存・修復支援のため、外務省、文化庁、(独)国立文化財機構との共催により専門家からなる支援チームを派遣、遺跡の構造精査や測量実測等を行った。
2 舞台美術ワークショップ	インドネシア マレーシア	杉山 至 畑野 一恵	アゴラ企画 日本美術家ギルド	舞台美術家 事務局長	07.02.24～ 07.03.05	舞台美術及び舞台衣装製作指導のために、杉山至氏及び畑野一恵氏を派遣、現地舞台関係者を対象にワークショップを行った。
3 米百俵演劇指導フォーアッパ	バングラデシュ	木村 進次 木村 活也	すわらじ劇園	代表 園員	06.08.08～ 06.08.22	バングラデシュ国立芸術院において、戯曲『米百俵』の上演指導を行うため、木村進次氏及び木村活也氏を派遣、平成18年3月の第1回指導に続き、9月に予定された公演の直前最終指導を行った。
4 ティカル・キリグア遺跡遺跡保存修復調査	グアテマラ	中村 誠一	ホンジュラス国立人類学歴史学研究所	研究員	06.06.20～ 07.09.19	世界遺産に指定されているティカル及びキリグア遺跡(マヤ古代文明遺跡群)の保存・修復のため、中村誠一氏を派遣、ティカル遺跡内の「北のアクロポリス建造物」を飾る漆喰マスク保存のための環境観測やキリグア遺跡保存マスタープラン作成等を行った。
5 古文書修復調査及び指導	サウジアラビア	安田 智子 児島聡	東京修復保存センター	紙保存専門家	06.09.10～ 07.03.22	リヤドにある学術・文化機関キングファイサルセンター所蔵の古文書の保存・修復のため、安田智子氏・児島聡氏を再派遣、リーフキャスト作業等の指導を行った。
6 古文書修復調査及び指導	トルコ	水村恵 安田 智子 児島 聡	東京修復保存センター	紙保存専門家	06.09.10～ 07.02.24	イスタンブールにある国立スレイマニエ図書館所蔵の古文書(オスマン朝時代の歴史書等)の保存・修復のため、安田智子氏・児島聡氏による予備調査の結果を踏まえ、水村恵氏を派遣、インクしみ止めや金彩色劣化防止作業等の指導を行った。

	事業名	対象国	人物	所属機関	現職	期間	事業内容
7	女子バレーボール指導	ケニア	菅原 貞敬	バレーボール協会	女子強化副委員長	06.07.01～ 06.09.30	11月に東京で開催される世界バレー選手権に出場するケニア女子ナショナルチームの強化指導のため、菅原貞敬氏を派遣した。同選手権では、結局勝利することはできなかったが、数年前に比べて確実にレベルアップしているという報道がなされた。
8	ジャワ中部地震復興支援	インドネシア				06.07.20～ 06.07.27	ジャワ中部で発生した大地震によって被害を受けたプランバナン寺院を始めとする文化遺産の復興に向けた調査団派遣に伴う携行機材費等、経費の一部を負担した。

1. 人物交流事業費 (2)文化協力 (招へい)

主にODA対象国における現代の文化・芸術・スポーツなどの活動を振興し、諸分野の人材育成を支援するために、専門家の派遣および招へいを行なう。

合計額 2,509,641円

	事業名	対象国	人物	所属機関	現職	期間	事業内容
1	空手指導者招聘 (フィジー)	フィジー	Netani Koto Tadulala Beato Lenoa Emosi Cagi	全日本空手道連盟 (全空連)	空手指導者	07.01.20～ 07.02.05	フィジー空手協会推薦の空手指導者3名を日本に招聘し、代々木の空手道場及び帝京大空手部での空手技術トレーニング及び指導法研修を行うと同時に、東京都空手指導者研修会において審判技術のレベルアップを図った。会場、指導者、指導日程の調整に際し、全日本空手道連盟の全面的な協力を得たおかげで効果的な実施が可能になった。

文化協力事業費

2. 催し等事業費 (1)文化協力 (助成)

海外の無形および有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施するため、国際共同事業に対し経費の一部を助成する。
合計額 576,894円

	事業名	対象国	所属機関	期間	事業内容
1	チェコ刀剣研究者招聘及び指導・研究 (チェコ)	チェコ	つくし剣工会 日本刀研究会	06.05.16～ 06.06.15	チェコ日本刀研究会会長である研究者 PLANKA Bohumil氏を日本に招聘し、チェコと日本の刀剣文化の比較を念頭に入れつつ、東京、関西、福岡において日本刀に関する共同研究、フィールドワークを実施する事業に対して、経費の一部を助成した。

2. 催し等事業費 (2)文化協力 (助成) (AC)

アジア各国の文化振興支援を目的とした国際共同作業に基づく会議・ワークショップ・セミナー・研修などに対し助成を行なう。

合計額 11,667,059円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	アジア21世紀オーケストラプロジェクト2006	アジア地域区分 困難	ハノイ音楽院 慶南大学 上海音楽院 名古屋フィル ハーモニー交響 楽団	06.08.20～ 06.08.30	ベトナム、中国、韓国より音楽学生と若手プロ奏者約25名を招聘し、名古屋フィルハーモニー交響楽団員による個別技術指導、グループレッスン、合同コンサート「アジア21世紀オーケストラ」開催する事業に対して、経費の一部を助成した。
2	バヤットの斜めロクロの文化を守る事業	インドネシア	NGO斜めロクロの文化を守る会 斜めロクロ産業振興センター	06.07.01～ 07.03.31	日本から陶芸技術者を派遣し、「斜めロクロ産業振興センター」において地域産業の発展のための新商品のデザイン指導、技術指導、釉薬指導、ガス窯焼成指導を行う事業に対して、経費の一部を助成した。
3	ドンラム村農集落保存修復技術向上計画	ベトナム	ベトナム文化情報省 国立文化財修復設計センター 昭和女子大学	06.07.01～ 07.03.31	日本文化庁とベトナム文化情報省の間で締結されたドンラム村農集落保存国際協力協定に則って、農集落全体の保存・修復のための技術援助を行う事業に対して、経費の一部を助成した。
4	インド洋大津波被災地における市民における市民による歴史遺産復興活動の支援事業	インドネシア	アチェヘリテージコミュニティ基金 財団法人奈良まちづくりセンター	06.04.01～ 07.03.31	インド洋大津波により大きな被害を受けたインドネシア・バンダアチェの市民による歴史的遺産の調査修復活動を支援するため、アチェの市民グループを日本に招聘し日本の町並み保存の経験や災害復興経験を紹介するとともに、日本側の専門家がアチェを訪問し、被害の調査と歴史的遺産の実態調査を行う経費の一部を助成した。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
5	アンコール・トム バイヨン寺院保存（カンボジア）	カンボジア	アプサラ機構 早稲田大学総合研究機構・ユネスコ世界遺産研究所	06.10.25～ 07.03.31	2005年4月に終了した修復保存プロジェクト第2フェーズ内で完成した「バイヨン寺院保存修復マスタープラン」を基に、日本から修復専門家を派遣して①南経蔵の修復（修復計画の策定、部分的解体及び再構築）②バスレリーフ（劣化原因調査、保存計画の策定等）③中央塔（地盤調査、保存計画の策定等）を中心に修復を実施する事業に対して、経費の一部を助成した。
6	アサ古文書所蔵ネパール貴重文献「泥封印付巻物型貝葉写本」修復・保存・デジタル化プロジェクト（ネパール）	ネパール	アサ古文書館 アジア文化財保存修復会	06.11.03～ 06.12.23	アサ古文書館所蔵の歴史貴重文献で、その形態が他に類を見ない泥封印付巻物型貝葉写本コレクションのデジタル化とそれに伴う保存修復協力援助を行う事業に対して、経費の一部を助成した。